

図3-1

β-ラクタム剤の一種

◎ カルバペネム

5員環の1位が炭素「C」

グラム陽性からグラム陰性菌までの広範囲の抗菌スペクトル

チエム (商品名)

○ imipenem / cilastatin

分解を抑える

腎毒性を軽減する合併

imipenem

分解

阻害

dehydropeptidase-I
(腎尿細管細胞縁膜)DHP-IE
抑える

cilastatin

imipenem

その分解産物

有機アニオン輸送

腎毒性

○ panipenem / betamipron

panipenem

腎毒性

有機アニオン輸送

betamipron

○ meropenem

単剤 腎毒性は弱いとされている。

DHP-I で分解されない。

図3-18, 16

カルバペネムの適応は中等以上の感染症

- ① 基礎疾患を有する患者や compromised host
- ② 他の抗生剤に反応しない重症感染症
- ③ 敗血症

[Henle's loop]

図3-1

β-ラクタム環のみ

◎ モノバクタム monobactam

信州大ではほとんど使用されていない。

Aztreonam; AZT

carumonam; CRMN

好気性グラム陰性桿菌のみ有効。

グラム陽性菌

嫌気性菌

には、ほとんど無効。正常細菌叢への影響は少ない。

緑膿菌に対する抗菌活性強い。

複雑性尿路感染症に適応。

経口ではほとんど吸収されない。

重症感染症に用いる最後の切り札

嫌気性生にも

